

中運技整第316号
中運技保第176号
平成31年1月21日

管内各運輸支局長 殿

自動車技術安全部長

事業用大型自動車の車輪脱落事故防止の徹底について

標記については、これまで機会あるごとに注意喚起しているところであるが、今年度における中部管内の発生状況は別紙のとおりであり、これは前年度の件数（4件）を上回る状況となっており誠に遺憾である。

また、本件の事故は、平成14年度から平成28年度までの統計によると、2月に最も多く発生しており、予断を許さない状況にある。

については、同種事故を防止するため、冬用タイヤに交換後、50～100km走行後においてホイールナットを増し締めすることや、運行前において点検ハンマなどを用いた日常点検を確実に実施するなど、運送事業者等関係者に対して事業用大型自動車の点検・整備の確実な実施及び適切な保守管理を徹底するよう指導されたい。

なお、別添のとおり管内各運行管理者指導講習認定機関及び一般財団法人中部貸切バス適正化センター代表理事あて通知したので申し添える。

【参考：国土交通省ホームページ】

大型車の車輪脱落事故が増加！特に左後輪に注意！

～ 平成29年度大型車の車輪脱落事故発生状況を受けて ～

URL：http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000202.html

事業用大型自動車の主な車輪脱落事故の発生状況について(平成30年度 中部運輸局管内)

平成30年12月末現在

	発生日	発生場所	負傷の状況	業態	事故概要等
1	平成30年6月21日	福井県越前市	なし	トラック	大型トラック(4軸車)が国道8号線を走行中、交差点を右折したところ、右後輪のタイヤ付ホイール2本が外れた。 この事故による物損等被害はなかった。 (脱落した車輪のホイールボルト全8本(ISO方式)は損傷しておらず、ホイールナット7個が紛失していたことから、ホイールナットの締付不良によるものと推定。)
2	平成30年8月24日	神奈川県足柄上郡	なし	トラック	大型トラック(4軸車)が東名高速道路上り線を走行中、突然、右前輪のリム付タイヤが外れた。 この事故による物損等被害はなかった。 (脱落した車輪のホイールナットは全て緩んでおらず、 <u>ホイールディスク</u> が劣化したことにより破断したものと推定。)
3	平成30年9月5日	栃木県佐野市	なし	トラック	大型トラック(4軸車)が北関東自動車道下り線を走行中、突然、左後輪のタイヤ付ホイール2本が外れた。 この事故による物損等被害はなかった。 (当該ホイールボルト(ISO方式)に、ホイールと干渉した痕跡があったことから、ホイールナットの締め付け不良によるものと推定。不具合発生の約4ヶ月前にホイールの脱着作業を実施。作業後の走行距離:約7,700km)
4	平成30年10月1日	滋賀県甲賀市	なし	トラック	大型トラック(4軸車)が国道1号線を走行中、異音が発生した直後、車両左側から前方に転がるタイヤを認めたことから停止したところ、左後輪のタイヤ付ホイール2本が外れていた。 この事故による物損等被害はなかった。 (脱落したホイールボルト(ISO方式)のネジ山が摩滅していたことから、ホイールディスクの変形等によりホイールナットに緩みが生じた可能性が考えられる。)
5	平成30年11月7日	岐阜県美濃市	なし	トラック	大型トラック(4軸車)が一般道を走行中、左後輪のタイヤ付ホイール2本が外れた。 (原因は、ホイールナット(ISO方式)の緩みによるものと推定。)
6	平成30年11月13日	滋賀県湖南市	なし	トラック	大型トラック(4軸車)が高速道路を走行中、右後輪のタイヤ付ホイール2本が外れた。 当該車輪のホイールボルト(JIS方式)が折損していた。

※中部管内に営業所を置く運送事業者等から報告された事故を掲載。

別添

中運技整第316号の2

中運技保第176号の2

平成31年1月21日

管内運行管理者指導講習認定機関 殿

国土交通省中部運輸局自動車技術安全部長

事業用大型自動車の車輪脱落事故防止の徹底について

標記について、別紙のとおり管内運輸支局長あて通達したので了知されるとともに、運行管理者講習等の際、受講者に対して周知方よろしくお願いします。

別添

中運技整第316号の3

中運技保第176号の3

平成31年1月21日

一般財団法人

中部貸切バス適正化センター 代表理事 殿

国土交通省中部運輸局自動車技術安全部長

事業用大型自動車の車輪脱落事故防止の徹底について

標記について、別紙のとおり管内運輸支局長あて通達したので、了知願います。